

ウリナラが集まって各支部で花見が行われました

21日に会津地域同胞たちの花見が行われ、浜通、中通とともに県内すべての支部花見が終わりました。桜の開花が予想に反して早く、なんとなく時期を逃してしまったような感じではありましたが、3地域で100名を超える同胞たちが集まりました。今年の花見は北南首脳会談、朝米首脳会談を目前に控えウリナラを取り巻く情勢が好転している中で行われ心なしか集まった同胞たちの表情も明るく感じました。

民族の名節太陽節を祝うと共に地域の同胞たちが集まって楽しく過ごすこのようなイベントを通して同胞間のきずなを強めていけたかと思っています。

今後も様々な形で皆さんが集まれるイベントを企画していきます。

公開授業・教育会総会

ハツキョで公開授業と教育会総会が行われます。学生数が少ない中でも元気に学校生活を送る子供たちの姿を見に来てください。

4月28日(土)

9:55~10:40 公開授業(各教室)

10:55~12:00 教育会総会(音楽室)

ウリナラが併進路線の勝利を宣言

(朝鮮新報 4月25日号・日本語版「春夏秋冬」)

21日朝、テレビやインターネット上で速報が流れた。「北朝鮮、核実験場廃棄を決定 ICBM 発射も中止」。日本のメディアはどれも、20日に開催された朝鮮労働党中央委員会第7期第3回総会に関する朝鮮中央通信の報道を、核・ミサイル問題を中心に報じた

▼しかし朝鮮中央通信の原文を見ると、もっと大きな問題が書かれていた。同通信によると、金正恩委員長は5年前の「3月総会」が提示した経済と核武力建設の併進路線の課題が輝かしく貫徹されたと高らかに宣言。同時に、これ以上核実験とロケット発射実験は不要となり、北部核実験場も使命を終えたと述べ、さらに核なき世界建設へ貢献するという立場も明らかにした。そして、経済建設に総力を集中するという戦略的路线を打ち出した

▼総会で採択された決定書は、核兵器の完成を闡明(せんめい・明瞭でなかった道理や意義を明らかにする)するとともに、核の威嚇・挑発がない限り核兵器を絶対に使用しないとしている。これは、既存の核兵器を今手放すことではないと見て取れるが、トランプ大統領は「大きな前進だ。首脳会談が楽しみだ」とツイート。朝鮮の即核廃棄を求めるといふ非現実的な方針ではないということを暗示している

▼例の某紙は「北朝鮮の非核化を前提条件とするトランプ大統領との直接会談を控え、金正恩委員長は真剣さを行動で示す必要に迫られていた」とピント外れの「解説」をした。日本は完全に蚊帳の外。けちをつけ妨害することしか策がない。

今週の放射線量

(ハツキョ自動測定器)

16日(月)	0.098	20日(金)	0.094
17日(火)	0.094	21日(土)	0.098
18日(水)	0.105	22日(日)	0.102
19日(木)	0.102		

25	26	27	28	29	30	5/1
水	木	金	土	日	月	火
			公開授業 教育会総会			メーデー